

地理歴史

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
地理歴史	国際社会総合	2	2年次・D2群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）	履修の条件・連絡	
2024年度版ニュース検定公式テキスト 「時事力」発展編（毎日教育総合研究所）		なし	履修条件は特になし。	

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
現代の日本や世界が抱えている時事的な問題について、広い視野に立ち、多角的に事象を見る力を養うとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考え、良識ある公民として必要な資質・能力と態度を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
・現代世界で起きている諸問題について歴史的な背景を踏まえて理解を深める・現代世界の課題について地理的な手法を用いて理解し、まとめる技能を身に付ける。	・統計や図表などを用いて、多面的・多角的に考察することができる。 ・諸課題の解決の鍵となる理念や政策についてとらえることができる。 ・諸課題の考察について、プレゼンをしたり、討論できる。	・諸課題について自分の生活との関わりについて把握しようとする態度を養う。 ・日本の抱える諸課題と国際社会の課題の共通点・相違点について認識することができる。

2 学習計画と観点別評価項目

学習の年間計画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1学期	「暮らし」	1 加速する人口減少 2 社会保障のこれから 3 変化する日本の働き方	4	・急激に進行する日本社会の少子高齢化の現状と要因を多角的に考察し、その解決に向けて進むべき方向を他国の事例を参考に考える。	1 3
				5	・社会保障について基本的な事項を確認し、超高齢社会の日本における社会保障の在り方について考える。	1 2 3
		「社会・環境」	1 子どもの権利実現を 2 情報社会のこれから 3 大災害に備える	6	・情報社会について確認し、キャッシュレス決済など情報通信技術の進歩やその裏側に潜む危険性について考える。	1 2 3
				7	・防災について変化する対策を理解し、身近な地域の取組に注目させる。	1 2 3
	2学期	「政治」	1 私たちの民主主義 2 日本政治の現在地 3 日本国憲法の行方 4 安全保障 5 地方自治の今	9	・選挙制度について、その仕組みを確認するとともに、政治参加の方法について考える。	1 3
				10	・成人年齢の変更について確認するとともに、「18歳成人」の課題を考える。	1 2 3
					・日本国憲法に関する基本的事項を確認するとともに、その意義や役割等について考える。	1 2
				11	・地方自治の現状と問題点を確認するとともに、地域活性化の在り方や手段、地域との関わりについて考える。	1 2 3
		「国際」	1 平和な世界どうやって 2 核兵器と向き合う世界 3 米国と中国	12	・冷戦終結後の世界の構造を確認し、日本の果たすべき役割を考える。	1 2 3
					・難民について確認し、難民との関わり方や支援の在り方などを考える。	1 2
					・核軍縮など世界平和を考え、日本や私たちの果たすべき役割を考える。	1 3
	3学期	「経済」	1 日本経済 2 借金頼みの財政 3 日本産業の今	1	・日本や世界の経済の現状を確認するとともに、望ましい世界規模での経済成長の在り方について考える。	1 2 3
				2	・外国為替について基本的な事項や変動要因を確認するとともに、その変動が経済や私たちの生活に及ぼす影響を考える。	1 2
				3	・保護貿易と自由貿易について理解するし、望ましい貿易の在り方を考える。	1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

					・再生可能エネルギーの基本的な事項を確認し、私たちの生活とエネルギー問題について考える。	1 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	・授業の内容が身に付き、それらを自分のものとして理解できているか。 ・現代社会の基本的・基本的な事項を理解し、その知識を活用できるか。		・現代の社会と諸問題に対して関心を持っているか。 ・社会の変化や様々な考え方を公正に判断しているか。 ・自分なりの方法で、意見を表現しているか。		・授業の内容に関心を持ち、積極的に参加しようとしているか。 ・諸課題を自身の身近な問題としてとらえ、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしているか。
	手 段	・定期考査の実施 ・問題演習の実施		・授業中の応答の観察		・授業中の態度の観察 ・ICT 機器の使用状況
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		・定期考査を3分の2程度、平常点を3分の1程度の割合で評価する。 ・平常点は、授業態度や提出物の提出状況及びその内容とする。			
学習上の留意点		・現代社会の基礎的・基本的な問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事項を、分かりやすく取り上げる。 ・ICT 機器を活用し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付けさせる。 ・生徒の応答を大切にし、意欲的に授業に取り組む雰囲気を作る。				